

情報公開文書

研究課題名	寒冷凝集素症における凝集素価と赤血球恒数変化の前方視的調査
研究体制	■長野赤十字病院が責任研究機関となる
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>輸血部</u> 氏名 <u>徳竹 孝好</u>
研究期間	(西暦) 2023年4月 ~ 2024年3月
研究の概要	<p>(本研究の意義・目的)</p> <p>寒冷凝集素症患者における血球数算定時は、検体の寒冷(体温以下の温度)暴露によって赤血球凝集が起こり正確な検査データが得られないため、37℃に加温後再測定する必要がある。この患者では寒冷凝集素価が高いことが多いが、必ずしも寒冷凝集の程度と寒冷凝集素価が一致しない場合がある。今回前方視的に両者の乖離検体の原因を解明することを目的とする。</p> <p>(研究方法)</p> <p>過去に寒冷凝集が見られた症例、あるいは新規で寒冷凝集が見られる患者を対象とする。現在より未来に採血される検体で血算検査終了後の残余血液を小分けして、一つは室温放置、一つは37℃に15分加温後に、両者を遠心分離して上清の血漿を得る。得られた血漿で寒冷凝集素価を測定し、赤血球凝集の強さとの関係を検討する。</p>
試料・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・血算検査測定後の残余検体 ・生化学検査データ情報(検査部システムより) ・年齢・性別・疾患名などの患者情報(電子カルテより)
研究対象	<p>2023年4月~2024年3月の間で、過去に寒冷凝集が認められた症例、あるいは新規に寒冷凝集が見られる症例。</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>
お問い合わせ先	<p>〒380-8582</p> <p>長野県長野市若里五丁目22番1号</p> <p>長野赤十字病院</p> <p>所属 <u>輸血部</u> 氏名 <u>徳竹 孝好</u></p> <p>TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439</p>